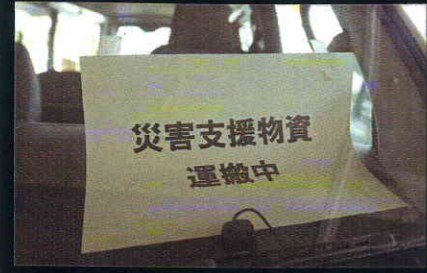
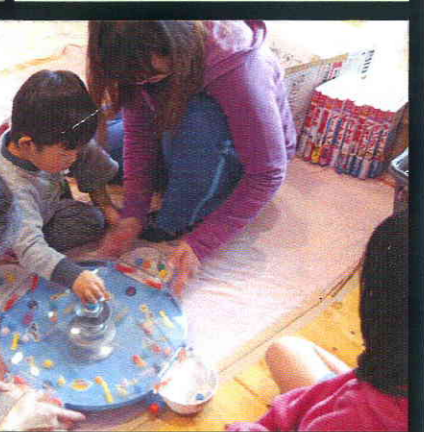
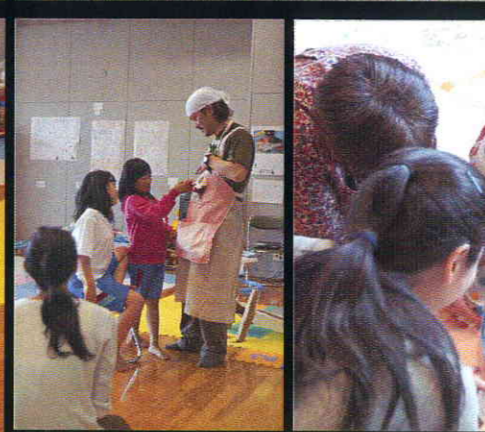




今回訪問した避難所は、会津若松の2カ所(河東体育館:約80名収容、ふれあい体育館:約90名収容)。4月下旬だというのに外は肌寒く、館内は心なしかひっそり。ちょうど大規模体育館などの一時避難から、民宿やホテルなどへの二次避難が始まった頃で、事情があって一次避難所に留まるご家族と暮らす子どもたちが、数人出迎えてくれました。



福島県の沿岸部、いわき市の惨状です。未だ手つかずのまま残る津波の爪痕。早く子どもたちの元へおもちゃを届けなきゃ...はやる気持ちを抑えつつ、避難所のある会津若松へ向かいました。



2011. 4.23~24
**福島の子どもたちに
思いを届けてきました。**

NPO法人アジール舎からお預かりした段ボール5箱に、東京でたくさんの方から寄せられたおもちゃの山をプラス。会津若松のNPO法人寺子屋方丈舎を介して、7人のメンバーが避難所へ伺いました。緊張と不安の訪問でしたが、福島のみなさんは温かく受け入れてくださいました。

中には原発事故のため南相馬市から避難されている親子も。愁陽くんのおばあさまの「避難所で日々雑事に追われていると、子どもと本気で遊べなくて...。ボランティアの方が来てくれると助かるんです」との言葉に逆に励まされたり。メンバーたちも純真な子どもたちとの遊びを楽しんでくれました。この子どもたちの未来を何とかしたい...心からそう思わずにはいられない2日間でした。

この度は、貴重な機会をありがとうございました。みなさまからご提供頂いたおもちゃを確実に現地へお届けしたことをご報告いたします。後日、報告も兼ねた写真展を東京で、報告パネルブースをNPO法人アジール舎に設置予定です。また、今後も継続した支援活動をNP寺子屋方丈舎代表、江川さんとお約束をしました。詳細なレポートは後日改めて提出いたします。(藤井)

